

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	相互の特長をいかした多様な連携の推進		課(室)名	政策課
	施策	連携の推進		電話番号	087-839-2135
	基本事業	連携中枢都市圏における連携事業の充実		事業実施主体	市
	事務事業	次期連携中枢都市圏構想策定事業		事業期間	令和 5年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン（基本構想）」の計画期間が令和5年度で終了することから、圏域の目指すべき将来像を定め、圏域全体の活性化と圏域内の人口減少を抑制するため、次期連携中枢都市圏構想を策定する。				
6年度概要					
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	3-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

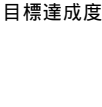
【事業の目的】

対象（何を）	本市及び近隣連携自治体				
意図（どのような状態にしたいか）	圏域における人口流出の抑制、維持に貢献できるよう、本市が中心となって圏域の経済を活性化するとともに、圏域住民の生活環境の利便性を維持向上させる施策・事業を推進するため、次期連携中枢都市圏構想を策定する。				

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
ビジョン懇談会の開催回数	回	0	0	2	0	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	次期連携中枢都市圏構想策定率	%	目標値	0	0	100	0	100
			実績値	0	0	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 「しま、まち、さがつながり 未来に躍動する瀬戸・高松交流圏域」を圏域の目指すべき将来像とする「第2期瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン」を策定した。 							(達成度) 100.0% 35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	0	0	14,371	0
（事業費）	〔円〕	0	0	10,629	0
（職員人件費）	〔円〕	0	0	3,742	0

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	完了
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催することにより、圏域の目指すべき将来像などについて意見交換を行い、令和6年度から10年度までを計画期間とする「第2期瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン」を策定した。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 策定した「第2期瀬戸・高松広域連携中枢都市圏推進ビジョン」に基づき、人口減少、少子・超高齢社会においても活力ある社会経済を維持するため、連携市町と連携・協力し、「経済成長のけん引」、「高次都市機能の集積・強化」や「生活関連機能サービスの向上」に資する取組を行う。			

令和 6年度（ 5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	相互の特長をいかした多様な連携の推進		課(室)名	政策課
	施策	連携の推進		電話番号	087-839-2135
	基本事業	連携中枢都市圏における連携事業の充実		事業実施主体	市
	事務事業	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	人口減少、少子・超高齢社会にあっても、経済を持続可能なものとし、より住民が安心して暮らしを営んでいけるようにするため、瀬戸・高松広域定住自立圏から国が進める新たな広域連携制度の連携中枢都市圏へ平成28年度から発展的に移行し、圏域全体の更なる活性化と魅力ある都市圏の形成を図る。また、本市が中心となって、圏域における人口流出の抑制、維持に貢献できるよう、圏域の経済を活性化するとともに、住民の生活環境の利便性を維持向上させる連携事業の実施に努める。				
6年度概要	ビジョン懇談会（1回）の開催 懇談会部会の開催（1回） 連携中枢都市連絡会議出席 ポータルサイト保守				
重点取組事業		市長マニフェスト	3-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

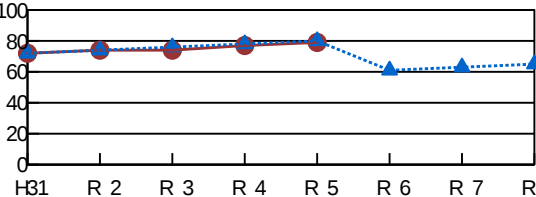
【事業の目的】

対象（何を）	本市及び近隣連携自治体
意図（どのような状態にしたいか）	圏域における人口流出の抑制、維持に貢献できるよう、本市が中心となって圏域の経済を活性化するとともに、圏域住民の生活環境の利便性を維持向上させる施策・事業を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
近隣市町協議数（協議市町数×回数）	協議数	49	42	42	42	42

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5	
	圏域で取り組む連携事業の数（都市圏ビジョン登載事業数）	事業	目標値	76	78	80	61	80	
			実績値	74	77	79			
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 98.8%	
	圏域全体の生活関連機能サービスの向上に係る連携分野において2事業を追加し、連携事業の数の合計が79事業となったが、目標は下回った。	(目標達成度)							34点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5	
			目標値						
			実績値						
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)	
		(目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	6,350	5,633	5,604	5,786
（事業費）	〔円〕	310	394	335	517
（職員人件費）	〔円〕	6,040	5,239	5,269	5,269

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
昨年5月に、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類に移行し、様々な連携事業に取り組んだが、圏域の人口は当初の想定よりも減少している。 高松市の人口減少率は、香川県全体と比較すると緩やかであるが、連携市町は、減少幅が大きく、圏域の活性化のためには、更なる取組が必要である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
「第2期瀬戸・高松広域連携中枢都市圏推進ビジョン」に基づき、人口減少、少子・超高齢社会においても活力ある社会経済を維持するため、連携市町と連携・協力し、「経済成長のけん引」、「高次都市機能の集積・強化」や「生活関連機能サービスの向上」に資する取組を行う。			